



令和2年12月18日

「大学の世界展開力強化事業」に関する記者会見（12月21日） 延期のお知らせ

12月17日にご案内しました「大学の世界展開力強化事業（アフリカ諸国との大学間交流形成支援）」に関するエジプト、ザンビア、マラウイの各駐日大使等との記者会見及び事業説明（12月21日）」につきまして、ご案内直後のご連絡となり大変申し訳ございませんが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえ、残念ながら延期させていただきます。

なお、新たな開催日程が決まり次第、追ってお知らせいたします。

— 以下、令和2年12月17日付け案内文 —

NEWS RELEASE

令和2年12月17日

「大学の世界展開力強化事業（アフリカ諸国との大学間交流形成支援）」に採択され、エジプト、ザンビア、マラウイの各駐日大使等と事業説明を行います

文部科学省の令和2年度「大学の世界展開力強化事業（アフリカ諸国との大学間交流形成支援）」に、本学が申請したプログラムが12月1日に採択されました。全国の国公私立大学から31件の申請があり、本学を含め7件が採択されました。

本プログラムは、エジプト、ザンビア、マラウイの合計6大学と共同で実施します。申請にあたっては、エジプト、ザンビア、マラウイの各駐日大使から本プログラムへの支援表明をいただいております。3か国の大学との教育交流を通じて、日本とアフリカの橋渡しとなる人材を育成していきます。

【プログラム名】

南北アフリカとの互恵的パートナーシップ構築のためのトライアングル
海外学習プログラム

【事業期間】

令和2年度～令和6年度（学生の派遣・受入は令和3年度から実施）

【交流大学】

- ・エジプト：カイロ大学、アスワン大学、アインシャムス大学、ベニスエフ大学
- ・ザンビア：ザンビア大学
- ・マラウイ：マラウイ大学

【交流規模（年間）】

- ・実際に渡航する学生：広島大学16人、アフリカ側大学8人
- ・オンライン教育参加学生：広島大学26人、アフリカ側大学48人

【教育交流プログラムの内容】

＜広島大学生の派遣＞

- ・START アフリカ（学部学生を対象とした短期派遣プログラム）
ザンビアに1週間、その後エジプトに1週間滞在し、現地学生との交流を含め、SDGsをテーマとした現地学習を実施
- ・セメスター留学（大学院学生を対象とした1学期間の交換留学）
保健医療又は食料安全保障の分野を学ぶ学生をザンビア大学に派遣。教育分野を学ぶ学生をマラウイ大学に派遣

＜交流大学からの受入＞

- ・セメスター留学（大学院学生を対象とした1学期間の交換留学）
教育、保健医療、食料安全保障の各分野で、エジプト、ザンビア、マラウイの大学から学生を受入。

＜オンラインによる共同学習＞

- ・広島大学・アフリカ6大学合同のCOIL型教育（※）を実施
※ Collaborative Online International Learning（オンライン国際交流学習）



つきましては、下記のとおり、記者会見及び事業説明を行いますので、是非ご出席くださいますようお願いいたします。

記

<記者会見及び事業説明>

【日 時】 12月21日(月) 16:15~16:45

【場 所】 広島大学 霞キャンパス 広仁会館中会議室(1階)
(広島県広島市南区霞一丁目2番3号)

【出席者】 広島大学

越 智 光 夫 学長

渡 邊 聡 理事・副学長(グローバル化戦略担当)

佐 藤 利 行 理事・副学長(平和・基金・アジア担当)

金 子 慎 治 副学長(グローバル化推進担当)

在日エジプト大使館

Ayman Aly KAMEL 駐日大使

在日マラウイ大使館

Grenenger Kidney Msulira BANDA 駐日大使

在日ザンビア大使館

出席者調整中

【お問い合わせ先】

広島大学 国際室国際部グローバル化戦略グループ

TEL: 082-424-6045

MAIL: kokusai-group@office.hiroshima-u.ac.jp